

2019 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 香 西 勇 治
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

米国子会社 SOFEC 社、ペトロナス社 FLNG の移設に伴う係留設備関連工事を完了

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:香西勇治)の米国子会社 SOFEC, Inc.(以下「SOFEC 社」)は、マレーシアの国営石油会社である Petroliam Nasional Berhad (以下「ペトロナス社」)の子会社より、FLNG (Floating LNG Production Unit: 浮体式液化天然ガス生産設備)の移設に伴う係留設備関連工事(以下「本案件」)を受注しておりましたが、今般据付工事を完了しましたので、お知らせいたします。

本案件は、SOFEC 社製の大型係留設備を採用し、2016 年 12 月に FLNG として世界で初めて液化天然ガスの生産を開始したペトロナス社の“PFLNG SATU”の操業地移動に伴う工事です。SOFEC 社は、本 FLNG の操業地移動に伴い新たに必要となった係留索(チェーン)及びアンカーの設計から機器購入、建造、据付までの一括工事を行いました。

本係留設備は、浮体式生産設備の船体外部に組付けられるエクスターナル・タレット(External Turret)と呼ばれる一点係留設備であり、係留される浮体式生産設備は、風見鶏のように波や風、潮流からの外力が最も小さくなるよう係留装置を中心として自由に回転し、悪天候下でも安定した操業を行うことができます。水深 70m から 200m の範囲に対応するように設計された本係留設備は、洋上のあらゆる天候下で長期間液化天然ガスの生産を行う本 FLNG の安全操業を支援する重要な役割を担っています。

本 FLNG は、マレーシアのサラワク州沖合の水深約 75m の海域に位置する Kumang クラスター・ガス田の海上にて液化天然ガスの生産に供されてきましたが、本年 2019 年 3 月に同国サバ州沖合の水深約 120m の Kebabangan クラスター・ガス田に移設されました。

海洋石油ガス業界において注目を浴びる FLNG プロジェクトは、最終投資決定済みのものが計 4 件ありますが、SOFEC 社はそのうち 3 件の FLNG 向け係留設備を受注しており、同領域での圧倒的な実績を誇っています。



PFLNG SATU

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading System: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。
<http://www.modec.com/jp>

SOFEC 社について

1972 年テキサス州ヒューストンに設立。業界リーダーとして、FPSO 向けをはじめとする各種係留設備の設計、建造、据付けに関わるサービスを提供しています。2006 年に三井海洋開発株式会社の子会社となりました。これまで合計 100 基以上の係留設備を世界に送り出してきました。